［診療部］

病理診断科

医長　内田　士朗

1 人員構成（2025年4月1日～2026年3月31日）

●常勤医

・医長　内田　士朗（2019年2月～）

医学博士、日本病理学会認定病理専門医
病理専門研修指導医
日本病理学会学術評議員
日本臨床細胞学会認定細胞診専門医
日本臨床細胞学会教育研修指導医
日本病理学会認定分子病理専門医
精度管理アドバイザー認定証

●非常勤医

なし

2 診療状況

病理専門医1人体制で病理診断、術中迅速診断を行っており、当院で提出された組織の病理診断を担当している。病理診断のうち癌については、各種臓器の癌取り扱い規約に沿って診断した。診断したものは、適宜パソコンでデータベース化している。

当院では、病理医1人体制であること、施行できる免疫染色に限りがあることなどから、難解な症例･希少な症例･確定診断に多数の免疫染色、遺伝子検査が必要となるものについては、外部機関にコンサルテーションを行って診断をした。

3 特に力を入れたこと

当院では、病理診断医が一人であるため、難解な症例などは、自分ひとりで結論を出すのではなく、非常勤先の静岡県立静岡がんセンター病理診断科在籍の専門家の意見を反映しながら慎重に行った。また、必要な際には、日本病理学会コンサルテーションシステムを利用して、国内のエキスパートにコンサルテーションを行ったりもした。

4 今後の課題

当院の病理診断科に着任してから８年ほどが経過する。その間に診断した症例で、希少な症例、医学的に意義のある症例も少ないながらも経験してきた。今後は、それらの症例について、初期臨床研修医など若手医師に積極的に学会発表などで取り上げてほしいと思っている。若手医師にとっては、貴重な経験になるとともに、当院の病理診断科の取り組みを対外的に知っていただくことに繋がると思っている。当年度の誌上発表については、巻末の『学会・研究会・誌上発表』の章をご参照いただければと思う。

病理検査（臓器数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2025年度（R 7）	198	155	190	202	190	171	193	171	158	160	177	161	2,126
2024年度（R 6）	153	157	193	185	147	144	260	184	169	154	138	166	2,050
2023年度（R 5）	168	215	244	199	184	165	186	185	183	177	193	174	2,273
2022年度（R 4）	183	160	199	258	160	165	205	185	202	152	170	177	2,216

術中迅速病理検査	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2025年度（R 7）	3	2	5	3	0	3	6	4	4	4	4	4	42
2024年度（R 6）	2	2	5	4	3	3	8	5	4	3	2	1	42
2023年度（R 5）	6	5	6	10	9	10	4	6	1	5	3	2	67
2022年度（R 4）	12	14	5	11	6	8	12	8	15	7	13	9	120

合　　計	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2025年度（R 7）	201	157	195	205	190	174	199	175	162	164	181	165	2,168
2024年度（R 6）	155	159	198	189	150	147	268	189	173	157	140	167	2,092
2023年度（R 5）	174	220	250	209	193	175	190	191	184	182	196	176	2,340
2022年度（R 4）	195	174	204	269	166	173	217	193	217	159	183	186	2,336

※当データは、診療補助部の章・臨床検査科ページに掲載中のものと同様である